

せんえんせい
遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」
4周年記念講演会

**講師
プロフィール**

小林 宏氏 (こばやし ひろし)

1966年静岡県沼津市生まれ。1990年東京理科大学工学部機械工学科卒業。1995年同大大学院博士課程修了(博士(工学))。1992年から3年間、日本学術振興会特別研究員。1995年同助手(1996、3月退職)、1996年から2年間、日本学術振興会海外特別研究員としてチューリヒ大学:AI Lab. に所属、1998年東京理科大学工学部機械工学科講師、1999年から同助教授、2008年から同教授。2001年~2004年、科学技術振興機構事業団 さきがけ研究21「相互作用と賢さ」領域研究員。IEEE、日本機械学会、日本ロボット学会などの会員。

1996、2005、2010、2014年度 日本機械学会賞(論文)、第6回産学官連携功労者表彰 文部科学大臣賞(2008-06-14)、2006・2008年度グッドデザイン賞、平成18年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞などを受賞。

「生きている限り自立した生活を実現する」ための装置の開発を最終目的に、大学発ベンチャー株式会社イノフィスを2013年12月27日に設立しマッスルスーツの販売を開始。現在、取締役、技術最高責任者。

遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」について

私たちは、ある日突然不慮の事故や病気により脳に重大な損傷を受け、一命は取り留めたものの意識障害が遷延している(続いている)遷延性意識障害者とその家族の会です。遷延性意識障害者は、自力で動くことも、食べることも、話すことも、呼びかけに応じることもできない、最重度の障害者です。家族は、病状や障害について大きな不安を抱えながら、転院先、リハビリテーションの制限、デイサービス・ショートステイの受け入れ制限など、医療・介護、制度上の様々な問題に直面し、将来への不安に苦しんでいます。そして24時間在宅介護で家の中で孤立状態にある家族、不安や疑問を相談できずに苦しんでいる家族も少なくありません。

そこで私たちは、2015年4月遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」を発足しました。「つくし」のように、厳しい冬から明るい春に向かって少しずつでも伸びていけるように、当事者家族同士が互いに支え助け合い、専門家に学び、一般の方々にもこの障害について理解してもらえるよう情報発信し、行政への働きかけなどを行い、当事者とその家族が安心して暮らせる社会を求めて活動しています。多くの方々のお力添えを、心よりお願い申し上げます。

参加申込書 (FAX:092-526-0616)

▶電話、メールでの申し込みも受け付けております

参加をご希望される欄に○をお願いします。※必須

どちらかの欄に○をお願いします。※必須

講演会	懇親会	会員 (家族、賛助、ボランティア)	一般	
			当事者・家族	その他

フリガナ	所属(医療介護・福祉関係の方)
お名前	
ご住所 〒	電話番号
	FAX 番号
	E-mail

【お申し込み・お問い合わせ先】

遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」
 TEL:080-8562-0171(代表:谷口) FAX:092-526-0616
 E-mail:kyusyu.ishiki@gmail.com

* 入会、賛助会員随時受付中、下記にお問い合わせ下さい。

遷延性意識障害者・家族の会九州「つくし」

代表:谷口 正春 Tel.080-8562-0171 Fax.092-526-0616 E-mail:kyusyu.ishiki@gmail.com

facebookページ▶<https://www.facebook.com/senensei.kyushu.tsukushi>



Tsukushi
 遷延性意識障害者・家族の会九州
 「つくし」